

NEWS RELEASE

半導体故障解析装置の製造能力強化 HAMAMATSU PHOTONICS KOREA が工場を新設

2025年3月12日
浜松ホトニクス株式会社
本社：浜松市中央区砂山町 325-6
代表取締役社長：丸野 正(まるの ただし)

当社の韓国現地法人であるHAMAMATSU PHOTONICS KOREA Co.,Ltd.は半導体故障解析装置の製造能力強化とグローバル市場における売上拡大を目的として、韓国の京畿道華城市（キョンギド ファソンシ）に工場を新設しました。既存の工場から新工場へ製造拠点を移転し、2025年3月から本格的に稼働を開始します。

2020年3月、当社は半導体故障解析装置の製造および大韓民国（以下、韓国）における画像計測機器の販売拠点としてHAMAMATSU PHOTONICS KOREA Co.,Ltd.を現地法人化し、画像計測機器事業の強化と売上拡大を行ってきました。特に半導体故障解析の分野において、韓国半導体メーカーをはじめとした顧客のニーズを的確に把握し新技術の開発を行ってきた結果、当社の半導体故障解析装置がグローバル市場において高いシェアを維持しています。

近年、生成AIの普及により半導体需要が急増しています。特に高性能なメモリやロジックの開発が継続的に行われており、早期の歩留まり向上が求められています。これに伴い、故障解析の必要性も高まっており、多くのデバイスを迅速に解析するためにオートメーションの機能を備えた装置が求められています。

故障解析のオートメーション機能には二種類あります。一つ目は、低倍率から高倍率へと自動で観察視点を切り替える機能です。これにより、故障箇所を迅速に特定することができます。二つ目は、ウエハ全体を高速に検査し、プロセス異常を早期に発見する機能です。これにより、製造プロセスの異常を早期に発見し、歩留まりの向上に寄与します。当社はこれら二種類のオートメーション機能を備えた装置の開発を進めています。

今回の新工場の稼働により、半導体故障解析装置の開発・製造・デモンストレーションなど多くの市場ニーズに対応することができる体制を強化します。また、新工場には当社の電子管製品や光半導体製品を輸入・保管し、韓国市場に販売する際の商流の起点としての機能が新たに追加されます。

新棟の概要は以下の通りです。

< 新棟概要 >

建物名称	HAMAMATSU PHOTONICS KOREA Dongtan (ドンタン) 工場
建築場所	171, Dongtan Youngchun-ro, Hwaseong-si, Gyeonggi-do, Republic of Korea
建築工期	2024年8月、2025年2月竣工
稼働予定	2025年3月
建築構造	鉄骨造 地上2階
建物面積	建築面積 1,908㎡、延床面積 2,617㎡
施設構成	1階 会議室、応接室、事務室、倉庫、組立および調整エリア、デモンストラ ーションルーム 2階 事務室、倉庫
総工費	約4億円
収容人員	約100名
製造品目	半導体故障解析装置、u-LED検査装置
生産能力	約1,000億ウォン(円換算 約110億円/売上高換算)



新工場の外観

報道関係者には写真をデータで提供しますので下記までお申し付けください。

この件に関するお問い合わせ先

■報道関係の方 浜松ホトニクス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 野末迪隆
〒430-8587 浜松市中央区砂山町 325-6 日本生命浜松駅前ビル
TEL:053-452-2141 FAX:053-456-7888 E-mail: nozue-m@hq.hpj.co.jp
時間外は、携帯電話 080-8262-0374 へお願いします